

第六次栗東市総合計画前期基本計画評価について

評価期間

令和2年度から令和5年度中間実績まで

評価方法について

一次評価：総合計画推進本部及び各課評価

二次評価：総合計画審議会評価

評価基準

- 良 好・・・施策が計画以上に進捗し、期待以上の成果が得られた（ほぼ100%）
- 概ね良好・・・施策が計画どおり順調に進捗し、ほぼ期待どおりの成果が得られた（75%程度）
- 普 通・・・施策は計画通り進捗している、期待したほどの効果が得られなかった（50%程度）
- やや不良・・・施策の進捗が遅れており、あまり成果が得られなかった（25%程度）
- 不 良・・・施策の進捗しておらず、成果が得られなかった（0%程度）

政策1 経済の安心を生み出す

目標 経済活動が活発で、多様な就労環境があるまち

	不良	やや不良	普通	概ね良好	良好
施策1 地域経済の振興					1
施策2 中小企業・小規模事業者の振興		1			1
施策3 農林業の振興			1	1	
施策4 観光の振興		1		1	
施策5 就労の支援			1	3	
施策6 産業拠点の形成と企業立地の促進			1	1	
計		2	3	6	2

一次評価

ほとんどの施策で、良好や概ね良好との評価となります。

中小企業・小規模事業者の振興や観光の振興について、新型コロナウイルス感染症の影響により栗東農業まつりなどのイベントが中止となりましたが、コロナ禍でも感染防止対策を図り事業実施しました。今後、コロナ禍以前にまで事業を展開していくとともに、農産物直売所などの観光資源や経済対策への対応をより一層行う必要があります。

二次評価

中小企業・小規模事業者の振興について、やや不良との評価がされている。農林業や観光と連携した商品や特産品開発などにより商業の活性化に取り組まれたい。

また、観光の振興についても、やや不良との評価がされている。県内でも本市の観光入り込み客数は少ない現状も踏まえ、農林業や商工業など他産業等との連携による観光の振興に取り組まれたい。

政策2 教育・子育ての安心を育む

目標 自己肯定感が高く、笑顔にあふれた子どもを育むまち

	不良	やや不良	普通	概ね良好	良好
施策1 子育て環境の充実		1		3	2
施策2 子育て家庭への支援				3	
施策3 就学前教育・保育の充実			1	2	
施策4 学校教育の充実				4	
計		1	1	12	2

一次評価

ほとんどの施策で、良好や概ね良好との評価となります。

学童保育所の需要に見合う整備や週5日の給食提供といった市民のニーズに応える施策を実施しました。

子育て環境の充実については、不登校・不適応児童生徒の学校内の居場所として校内教育支援センターの設置の促進や学校外の居場所づくりの施策を講じていますが、不登校児童生徒数が増加していることから、さらなる居場所づくりの促進が必要となります。

今後も引き続き、結婚から妊娠期、子育て期まで切れ目なく子育て支援を行うとともに、地域の実情に応じた取り組みを行う必要があります。

二次評価

子育て環境の充実の中で、不登校・ひきこもりは増加傾向にある中、その対策についてはやや不良との評価がされている。不登校児童・生徒の問題点の把握、適切な対応が取れるよう、さらに少子化が進む中、家庭や地域ぐるみで子どもを育てる環境の整備に取り組まれない。

政策3 福祉・健康の安心を築く

目標 健康維持に向けた取り組みが進み、地域共生が実現しているまち

	不良	やや不良	普通	概ね良好	良好
施策1 健康づくりと医療体制の充実			1	6	1
施策2 スポーツの振興		1		1	
施策3 地域福祉の推進			3	3	2
施策4 高齢者福祉の推進				2	
施策5 障がい者福祉の推進		1		2	
施策6 保険・年金制度の適正な運営				1	
計		2	4	15	3

一次評価

ほとんどの施策で、良好や概ね良好との評価となります。

健康づくりや食育に関する知識の普及や啓発、予防歯科の取り組みとして先進国であるスウェーデンより講師を招き、講演会を開催するなど将来にわたる健康づくりに向けた市民意識の向上に取り組みました。

スポーツの振興について、コロナ禍により障がいのある方などの感染予防対応が難しいこともありスポーツイベントへの参加者が少なくなったことから、今後、誰もが参加しやすい事業環境を整えていく必要があります。

障がい者福祉の推進について、障がい者支援施設及び農業関係者を通じて、農福連携による障がい者の農業への参加をより一層推進する必要があります。

二次評価

スポーツの振興についてやや不良の評価がされている項目がある。各種スポーツ活動がコロナ禍により停滞した現状はあるが、アフターコロナにおけるスポーツ振興のあり方について検討、取り組みを進められたい。

また、障がい者福祉の推進における農福連携の推進についてやや不良との評価がなされている。民間による活動支援も含めた事業の推進に取り組まれない。

政策4 暮らしの安心を支える

目標 多様性を認め合い、快適で安全に暮らし続けられるまち

	不良	やや不良	普通	概ね良好	良好
施策1 人権・平和の推進		2	2	8	
施策2 男女共同参画の推進			2	3	
施策3 防犯・消費者保護の推進				3	
施策4 交通安全の推進			2	2	
施策5 多文化共生の推進			1	1	
施策6 地域コミュニティの充実			1		

	不良	やや不良	普通	概ね良好	良好
施策7 生涯学習の推進			1	2	
施策8 文化・芸術の推進				1	
施策9 防災の推進			3	2	2
施策10 循環型社会の推進				2	
施策11 公園・緑地の整備			1	3	
施策12 住環境・都市景観の形成			2	1	

	不良	やや不良	普通	概ね良好	良好
施策13 空き家対策の推進				1	
施策14 ライフライン（上下水道）の整備			1	1	
施策15 道路・交通の整備			1	3	1
計		2	17	33	3

一次評価

ほとんどの施策で、良好や概ね良好との評価となります。

人権・平和の推進においては、コロナ禍により事業や地域活動の多くが内容の一部変更や縮小、中止となりましたが、コロナ対策を図ることで必要な取り組みを実施することができました。

防災訓練の実施や水道の老朽管の更新、橋梁の補修や道路改良事業を実施するなど、安全・安心に暮らせるまちの実現に向けて取り組みを実施しました。

二次評価

地域総合センター活動の充実の推進でやや不良との評価がなされている。コロナ禍の影響を受けての事業の縮小、中止を受けての評価であるが、開催方法の見直しや、より効率的かつ効果的な手法の検討を含め取り組みを進められたい。

また、地震や大雨等の自然災害などの緊急時において、行政、市民、関係機関などがそれぞれの役割を認識、意識できるように日頃から防災・減災活動に取り組み、十分な危機管理体制を構築されたい。

政策 5 行政の安心を営む

目標 参画したくなる、新時代のパートナーシップを追求するまち

	不良	やや不良	普通	概ね良好	良好
施策 1 市民参画と協働の推進			3	1	
施策 2 効率的・効果的な行財政運営			2	3	
施策 3 行政サービスの品質向上				6	2
施策 4 - 1 シティセールスの推進			1	2	
施策 4 - 2 馬を活かしたまちづくりの推進		1	2	3	
計		1	8	15	2

一次評価

ほとんどの施策で、良好や概ね良好との評価となります。

馬を活かしたまちづくりの推進については、コロナ禍により馬に親しむ日のイベントは中止となりましたが、JRAをはじめ馬関連事業者や包括連携協定による民間業者等と協働しながら、馬の絵画展や馬に関する研修等を実施しました。

行政サービスの品質向上においては、最新のIT技術を活用することで、より一層、行政サービスの品質向上を図るとともに業務の効率化に努める必要があります。

引き続き、関係団体や企業等の多様な主体と連携し事業を実施していくことで、市民・事業者・行政が一体となってまちづくりに取り組む必要があります。

二次評価

馬事業に関する民間事業者との協働の推進でやや不良との評価がなされている。コロナ禍の影響を受けての事業の縮小、中止を受けての評価であるが、開催方法の見直しや、より効率的かつ効果的な手法の検討を含め取り組みを進められたい。

また、市民との対話をより積極的に行い課題を共有し、市民と行政が協働でまちの課題解決に向けて取り組みを行うとともに、馬をはじめ、市の魅力をSNS等によりこれまで以上に対外的にアピールし、まちの認知度や魅力向上につなげられたい。